

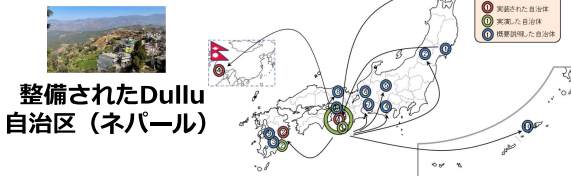
ICTによるレジリエントな社会の実現に向けて



概要

産学官連携や地域連携に基づき、ICTによるレジリエントな社会の実現に向けて取り組んでいます。研究開発成果の社会実証や実装に向けた具体的な取組、導入事例についてご紹介します。

ナーブネットの国内外への展開と支援



耐災害性を有するネットワーク技術「NerveNet：ナーブネット」の技術支援や技術指導などを国内外で行い、これまでに、国内外4か所の自治体で情報基盤が整備されました。

平時：インターネットアクセス、観光振興、行政ネットワーク等
災害時：避難所や救援物資の情報交換、災害本部関係者間通信等

映像IoTを用いた自然環境計測データの利活用連携



特徴

- ・ 国土強靱化の推進に資する研究成果の社会実装に向けた取組の推進
- ・ 耐災害ICTに係る情報収集、利用者のニーズ把握に基づく研究推進や社会実装
- ・ 防災訓練参加や展示等における成果のアピール

ユースケース

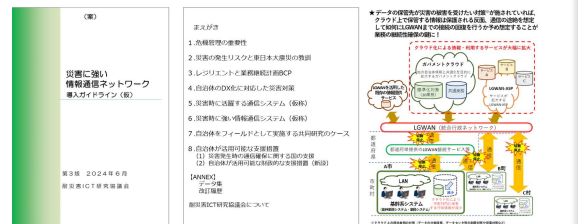
- ・ ナーブネットの国内外への展開支援
- ・ 映像IoTを用いた自然環境計測データの利活用連携
- ・ 産学官関係機関が参画する耐災害ICT研究推進協会を通じた実証や社会実装への取り組み

今後の展開

- ・ ナーブネットの自治体への普及の技術支援
- ・ 研究成果の周知活動を通じた産学官連携の促進
- ・ 災害に強い情報通信ネットワークの導入ガイドラインを通じた技術や取組事例の発信



災害時の情報共有例 (和歌山県内の防災訓練にて)



導入ガイドライン第3版 (案)